

動作法東北ネットワーク JAPAN 2021 大会 (オンライン)

一次案内

動作法は、1960年代に成瀬悟策先生によって開発され、半世紀以上に渡り、臨床実践が続けられ発展してきました。はじめは脳性マヒ者による肢体不自由の改善が目的でした。その後、知的障害や発達障害による心理面や生活上の困難の改善、日常的あるいは災害等による過剰なストレスが招いた心理的不調、高齢者の健康増進、母子間などの対人に関する信頼関係づくりに至るまで、多くの人々のニーズに応え続けています。しかし、今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、動作法は大きな制限・制約を余儀なくされています。特に訓練会などは中止に追い込まれ、トレーニーはもちろん、家族やトレーナーの研修、情報交換の場や機会がなくなっています。

そこで今大会では、『コロナ禍における動作法 ～ニーズの変化とその対応～』をテーマにし、あらためて動作法へのニーズとはどういったものか、そして、私たちはそれにどう応えることができるのかを探っていきたいと考えています。

動作法の意義である —— 「つながる」を取り戻し、自分らしく生きるため—— に、みんなで学んでいくことを願います。ぜひ、ご参加ください。

1 期日 2021年7月11日(日) オンラインによる開催(ZOOM) 参加費1,000円

2 日程

(9:00から入室できます)

9:20 開会行事

9:30 講演『動作法の課題とこれからの可能性』 香野 毅 氏(静岡大学教授)

10:30 ブレイクアウトルームによる意見交換

11:00 休憩

11:15 実践報告①

『スクールカウンセラーから見たコロナ禍における子供の変化』(仮) 渡部友晴 氏

11:35 実践報告②

『コロナ禍における岩手の月例会の実情』 上川達也 氏

11:55 実践報告③

『コロナ禍における自立活動の指導 ～動作法を活用した学習場面～』 調整中

※報告は10分から15分を目安とし、その都度質疑応答や意見交換したいと考えています

12:15 コメンテーターから 宮崎昭 氏, 吉川吉美 氏

12:30 閉会

12:30~13:20 ランチ交流会(各自昼食をとりながらの自由参加)

役員並びに評議員会を13:30~15:00に行います

3 申し込み方法(締め切り 6月25日(金)18:00) 参加費のお振り込みをもってお手続き完了です
こちらのQRコードを読み取り応募フォームに必要事項をご記入ください
URLはこちら→ <https://forms.gle/9owQnNfuxdGqo5Y98>



4 振込について

参加費1,000円

ゆうちょ銀行:記号:18520 番号:9517011 名前:山形心理リハビリテーション研究会
(振込手数料203円(窓口)152円(ATM)は参加者のご負担となります)